

【ステップ②】こめられた願いを知ろう！

大事にしている考え方

Point

子どもは自ら学ぶ力を持ち、その学びは園・学校で閉じることなく切れ目なく続く



【ステップ③】デザインの見方を知ろう！

詳しくは、内側「構造編」参照

Point

家庭のかかわりは、子ども自らの学びの広がりに合わせて変化していき、子ども自らの学びは、乳児期から始まり、家庭のかかわりにより引き上げられていく

【ステップ④】「家庭の学び」に生かそう！

「家庭のかかわり」を広げる

活用例 1

家庭のかかわり方を振り返り、子どもの実態と合わせて考え、行動に生かす

だんだん乗れるようになってきたぞ。その調子！一緒にがんばろう！



「子ども自らの学びを」広げる

活用例 2

子ども自らの学びの進み具合を一緒に確かめ、子どもの行動を促す

今、どんなことを学んでいるの？



かけかわ家庭の学びグランドデザイン



まるわかりガイド



「家庭の学び」の在り方についての理念をまとめた「かけかわ家庭の学びグランドデザイン」について、4つのステップでくわしく解説します！



Web版はこちら↑

【ステップ①】こんなときに使おう！

「見通す」ために

使い方 1

子どもの学びと家庭のかかわりの変化、地域の役割等を大まかにつかむ

子どもとどんなふうに接すればいいのかな？



地域での学びが大切だ。いつも運転手にお礼を言っていることをほめよう。

「見取る」ために

使い方 2

子どもの学びの様子や自分のかかわり方を振り返り、これからについて考える

どんなことに興味をもっているのかな。どんな声かけが必要かな。



一緒に行動することが減っていたな...今日は一緒に楽しもう！

「見直す」ために

使い方 3

グランドデザインを見て考えたことや気付いたことをもとに、他の人と語り合う

なるほど。今度やってみよう。

笑顔が大事ってわかっていても難しいな...



そうですね！私は、怒りそうになるとき深呼吸しています。

【ポイント①】基本構造



- ①「子どもは自ら学ぶ力をもっている」という子ども観のもと、**子どもの学びが全体のベース**となっています。
- ②子どもの自らの学びを引き出し、力を引き上げていくことをイメージし、**家庭のかかわりが上部**にあります。
- ③「学びの土台」の時期における家庭や地域のかかわりが大きいこと、成長に合わせて家庭のかかわり方が変わり、子ども自らの学びが増えていくことを、それぞれの色の面積でも表しています。
- ④最上部に全体を支える地域・行政を市民総ぐるみという形で表し、最下部に園・学校とのつながりを示しています。

最上部(薄緑色部分):市民総ぐるみで家庭の学びを支える 上部(桃色部分):子どもの学び方に合わせた望ましい家庭のかかわり方 下部(オレンジ部分):各成長段階における子どもの学び
 最下部(濃緑色部分):園・学校と家庭が切れ目なく子ども自らの学びを促す 中央曲がり矢印(2色):家庭のかかわり(薄桃色)と子ども自らの学び(薄オレンジ)が相互に作用しながら資質・能力が向上していくことを示す
 中央対角矢印(橙桃色):子どもの成長を表し、学びの段階を矢印上に言葉で示す 家庭のかかわりと子ども自らの学びが融合した色になっている

【ポイント②】基本目標

第2期掛川市教育振興基本計画
「人づくり構想かけがわ」の目標

参考 同基本方針

- 1 ころざしと学ぶ意欲を育てる人づくり
- 2 市民総ぐるみによる学びの環境づくり
- 3 未来志向のまちづくり

【ポイント④】家庭のかかわりと子ども自らの学び

見出し:望ましいかかわり方や
 子どもの学び方

丸四角:具体的な姿と学ぶ対象

見出し(桃色)・丸四角(薄桃色)

:望ましい家庭のかかわり方と具体的な姿

見出し(オレンジ)・丸四角(白色)

:子どもが自ら学びを深める様子と学ぶ対象



【ポイント③】未来を切り拓く3つの創る力

従来の「生きる力」をアップデートし、変化の激しい社会を生き抜くために、**掛川市の子どもたちに付けた力として創られた造語**です。乳児期から発揮していきます。

創像力:先を見通し、考えを収集・分析・整理・統合しながら、新たな価値を生み出していく力

創合力:多様な他者と力を合わせ、物事を様々な視点から見つめ、試行錯誤しながら協合力

創律力:自分を見つめつつ、自覚と責任をもち、自ら課題を見つけ、学び、行動し続ける力

【ポイント⑤】子どもの成長・学びの段階と資質・能力の発揮

【**学びの土台**】:3つの「**創る力**」の核となるのは、この時期に形成する親子の愛着関係です。**身近な環境から「愛情いっぱい」に学ぶ時期**です。

【**学びの芽生え**】:愛着を基盤にした安心感や他者への信頼感をもとに「**興味いっぱい**」に関わる世界(ひと・もの・こと)を広げながら、**頭と体を使って遊んだり体験したり**することで、非認知能力と認知能力を一体的に伸ばしていきます。

【**自覚的な学び**】:好きなことに没頭する中で生じた驚きや発見を大切に、**仲間や地域の方とかかわりながら「やる気いっぱい」**に問題解決に取り組み、3つの「**創る力**」を高めていきます。

【**創造的な学び**】:「**夢いっぱい**」に自分や地域の課題の解決に向けて、3つの「**創る力**」を発揮しながら、**多様な環境から計画的に学んでいく**ことで、自分の夢やころざしに向けて、一層力を伸ばしていきます。